

平成 25 年 10 月 29 日

公益社団法人 日本技術士会北海道本部 社会活動委員会主催

平成 25 年講演会のご案内

公益社団法人 日本技術士会 北海道本部
本部長 能 登 繁 幸

テーマ

『 アベノミクスと北海道経済 』

講 師 日本経済新聞社 札幌支社長 篠原昇司 氏

日時：平成 25 年 11 月 29 日（金） 15：00～16：40

会場：ホテル札幌ガーデンパレス 2階 丹頂

住所 札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

Tel 011-261-5311

参加のご案内

参加費：一般市民及び学生の方（CPD 対象者を除く） 無料
技術士及び技術士補の方 会員 1,000 円、会友 1,500 円、非会員 2,000 円
その他の方（CPD 対象者） 2,000 円

申し込み先：下記へ E メールまたは Fax にて、講演会の参加と氏名連絡先等を添えて
お申し込みください。
札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4-1 Docon 新札幌ビル
公益社団法人 日本技術士会 北海道本部 事務局（出村、桑島）
E-mail：hkcd-eng@ipej-hokkaido.jp、FAX：011-801-1618

申込締切日：平成 25 年 11 月 26 日（水）
（但し、定員 140 名になり次第締め切りますので予めご了承ください）

講演要旨

安倍首相は、さきの参院選挙での与党大勝、五輪の東京誘致成功もあって久々の長期政権を目指す基盤を整えました。中曽根政権、小泉政権など過去の長期政権ではいずれも株価が上昇しており、世界の市場関係者が首相の一挙手一投足を注目しています。6月に出したアベノミクス「第3の矢」である成長戦略は世界のマーケット関係者から失望をかいましたが、巻き返しをねらう成長戦略国会ともいうべき今国会での発言への意気込みを注視したいと思います。来年4月の消費税引き上げも控えており、脱デフレのためには大胆な規制緩和など成長戦略への決断が必要です。

北海道経済について、一部の弱気派の人たちに「北海道にはアベノミクスは来ない」という声もあるようです。しかし北海道の観光、住宅、建設業界などの活況は明らかですし、北海道経済の環境は昨年と様変わりしています。問題は凍りついたマネーの動向です。住宅ローンなど一部の融資は出ているようですが、企業も消費者も投資、消費に慎重な姿勢は変わらないようです。起業をしようという意気込みも本州と比べると弱いので、行政や金融機関、企業経営者の一段の努力が必要です。

講演プログラム

15:00 開会挨拶 公益社団法人 日本技術士会 北海道本部長 能登 繁幸

15:05 講演 『アベノミクスと北海道経済』
日本経済新聞社 札幌支社長 篠原昇司 氏
プロフィール

昭和35年（1960年）生まれ 神奈川県横浜市出身
昭和58年3月 東京大学文学部卒業
昭和58年4月 日本経済新聞社入社
平成10年 日経BP社「日経ビジネス」副編集長
平成17年 仙台支局長
平成19年 東京本社 消費産業部長
平成20年 同 日経MJ（流通新聞）編集長
平成22年 同 編集局次長
平成23年 同 編集局次長 兼 夕刊編集長
平成24年4月から 札幌支社長
現在にいたる

16:20 質疑・応答

16:40 閉会